

院長メッセージ

2018年4月、病院長を拝命し、「世界一強く、そして優しい病院」を新たな目標像としてより良い病院づくりに励んでいます。地域全体を一つの病院として捉え、当院の役割である高度・急性期医療の分野に引き続き力を入れてまいります。

さて、病院長就任当初、「世界一強い＝どのような医療環境にも耐えられる強靱な医療提供体制を構築していくこと」、そして「優しい＝職員に対して思いやりのある職場環境を提供していくこと」は同列と捉えていました。しかし最近では、これら目標像に到達するために、まず何よりも職員に対するより良い職場環境づくりが最優先であると強く認識するようになりました。

職員一人ひとりがその能力を十分に発揮できてこそより良い医療を提供でき、さらにさまざまな環境の変化にも対応できる組織になれると感じています。そして、それらの体制が確立して初めて、地域の医療体制にも大きく関与できるものと考えます。

私たちの病院単独ではすべての医療分野を担当することはできません。これからも地域のさまざまな分野の方と連携しながら、中核病院としてあり続けられるよう日々邁進してまいります。

院長 石橋 悟